

中 高 初芝富田林中学校・高等学校

進路満足度100%をめざし

「明るく楽しい超進学校」を実現



校長
平井 正朗

「南大阪に初^{はつ}富^{とみ}あり」と言われる進学校が2018年、さるなる進化をめざ

し改革に着手した。その陣頭指揮を執ったのが平井正朗校長。

「学習内容の消化ではなく、定着度を重視し、個々の生徒の学力の伸びを重視するカリキュラムを組みました」と語る。7時限の授業を6時限（土曜4時限）に減らして基礎・基本の定着を徹底するとともに、オリジナル講座である「校内予備校」を開講、受験指導の外部講師を招き、学びの選択^{せんたく}を可能にした。緻密なカリキュラム・マネジメントの結果、中高ともに入学者が大幅に増え、大学合格実績も国公立大・医歯薬系学部・教育系学部、難関私大それぞれで急伸した。また、5教科にはICTを活用したアダプティブ・ラーニング（個別最適学習）を導入して、合理的な学習を推進し、「進路満足度100%」をめざす。

学校生活の充実も図った。生徒会を作り、文化祭を拡充した。イングリッシュルームを作った映画を上映し、「数学甲子園」や書評合戦「Eブリオバトル」、「観光甲子園」などに参加しての探究的学習も充実している。

「正解のないテーマに対して、納得解^{なつとくかい}を導く学びを追求します。めざしているのは明るく楽しい超進学校です。」と平井校長。

これからの時代を担う、新しい進学校の形が注目されている。



①2020年度から高校のコースを「S特進探究」「特進探究」に再編、大学新テストに求められる探究型の学びを実践している。



②オックスフォード大学への短期留学で見聞を広めグローバルな視点を養う。



超進学校化